



■ 開発造成域

B 地区内の北側部分には、研究棟等の利用を図るため湿地を横切る進入道路が建設され、台地上に建造物や駐車場等が整備されました。開発区域内にあっても、影響を回避・軽減するための様々な自然環境配慮が講じられています。

I. 進入道路造成域

◆ 造成整備前 2002 年～'01 年



●2000 年 9 月 18 日
進入道路入口付近



●2001 年 2 月 27 日
進入道路入口付近

B 地区の北東端は、2001 年まで湿地の末端と砂川堀の細い流れが見られる、開けた景観の場所でした。

当初計画では、湿地北部を全面的に埋め立てて道路と駐車場を建設する予定でしたが、造成区域は大幅に縮小され、湿地の保全へと計画が見直されました。

◆ 造成工事段階 2002 年～'03 年

2002 年から道路造成が着手され、工事区域内のアカメヤナギの移植後に、湿地を東から西へ埋め立てる工事が進みました。

道路法面は、周囲の自然環境と馴染むように、植物が生育可能となる植栽擁壁が採用されました。



●2002 年 10 月 10 日
東から西方向



●2002 年 10 月 10 日
西から東方向



●2002 年 10 月 10 日
道路法面の擁壁構造



●2003 年 5 月 21 日
東から西方向



●2003 年 5 月 23 日
西から東方向





●2003年9月19日
法面の植栽柵



●2003年11月14日
東から西方向



●2003年7月3日
西から東方向

◆進入道路完成段階 2003年



●2003年8月7日
外路植栽

進入道路工事は、2003年夏にはほぼ完成し、道路街路帯・路面回復緑地・法面植栽柵等へ狭山丘陵にふさわしい在来植物を用いた緑化が行われました。



●2003年12月3日
回復緑地植栽

◆アーチカルバートによる湿地分断回避策



●2006年4月18日
カルバート全景



●2003年4月10日
完成段階



●2003年8月7日
みず道の状況



B地区の湿地改変面積は縮小したものの、道路の建設により湿地が南北に分断されたため、計5基の大型アーチカルバートの埋設による湿地のつながりを確保する対策が講じられました。



●2006年4月18日
3年後の状況



●2006年8月4日
3年後の状況



●2006年2月10日
蛇崩れ湿地側



●2003年4月10日
工事段階



●2003年8月7日
工事完了段階



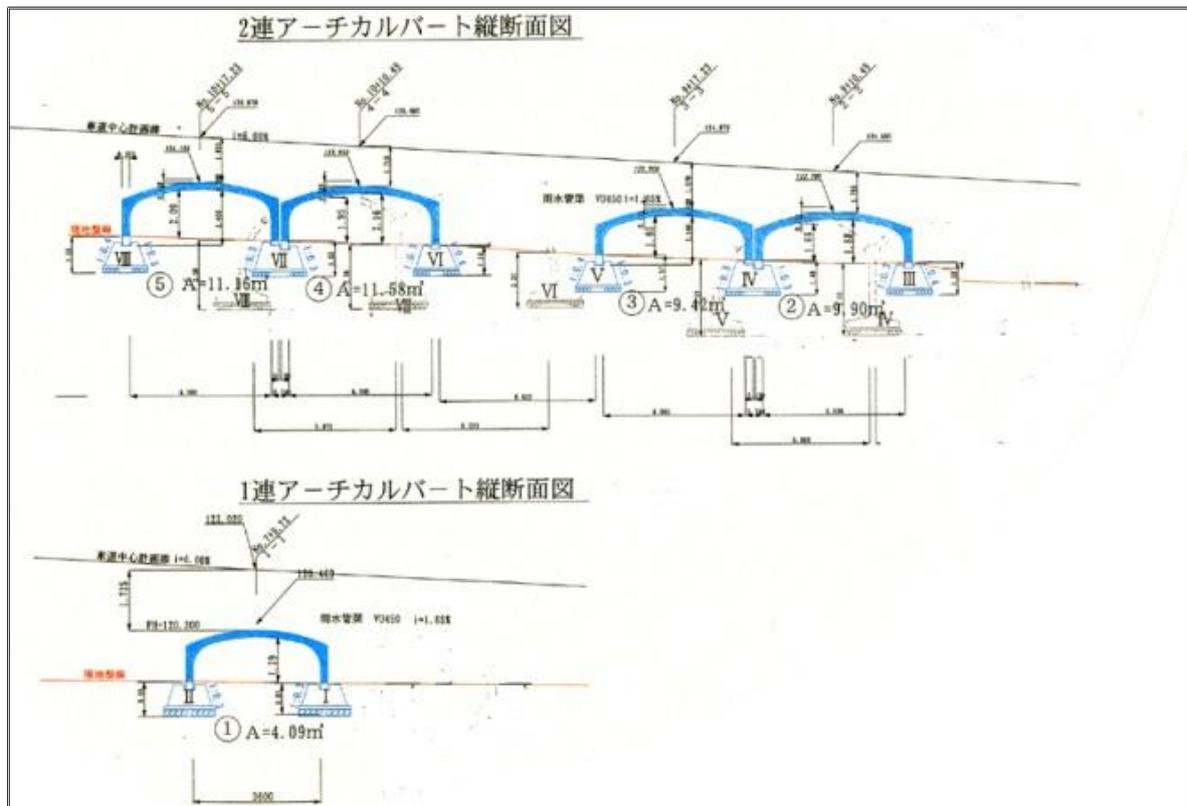
●2013年1月18日
アーチカルバートと南側水田（冬季）



●2014年7月25日
アーチカルバートと南側水田（夏季）



●2015年4月16日
アーチカルバートと南側水田（春季）



◆進入道路の夜間照明対策



●2007年5月11日
整備後4年目の外路樹と外路灯

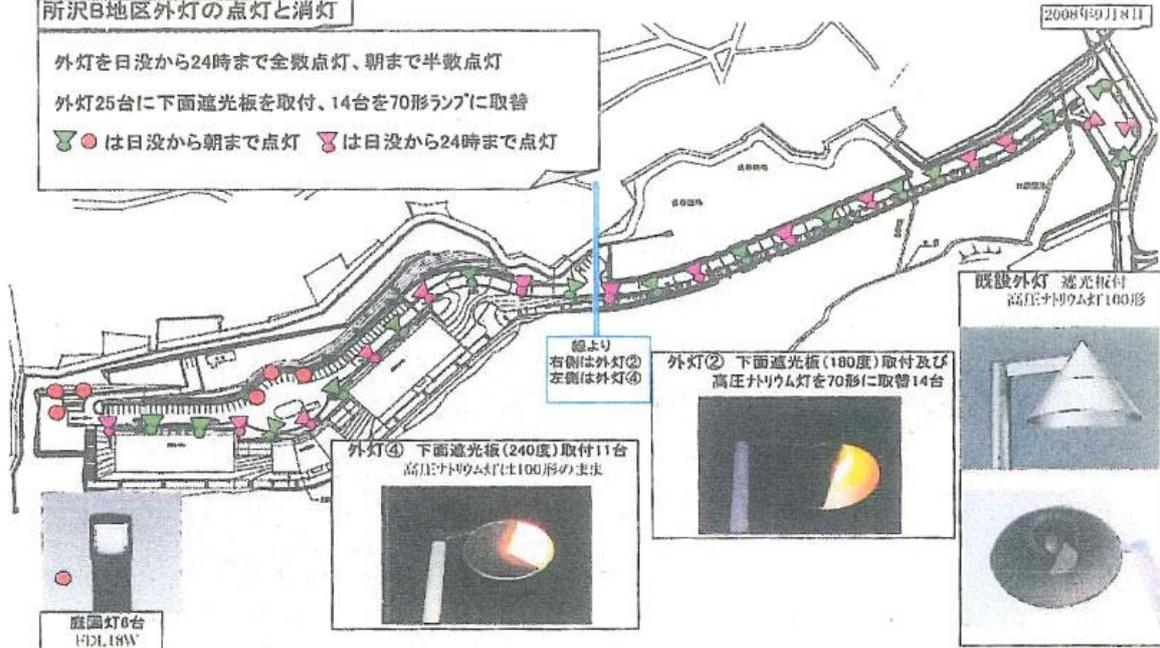


●2007年11月16日
進入道路の遠景

進入道路は、湿地の中を通過することから、外路灯の夜間照明についても、①高圧ナトリウム灯の採用②遮光板による光の方向制限③点灯数や時間の制限等の配慮を行い、ホタルを始めとした夜行性動物との共生に努めています。

所沢B地区外灯の点灯と消灯

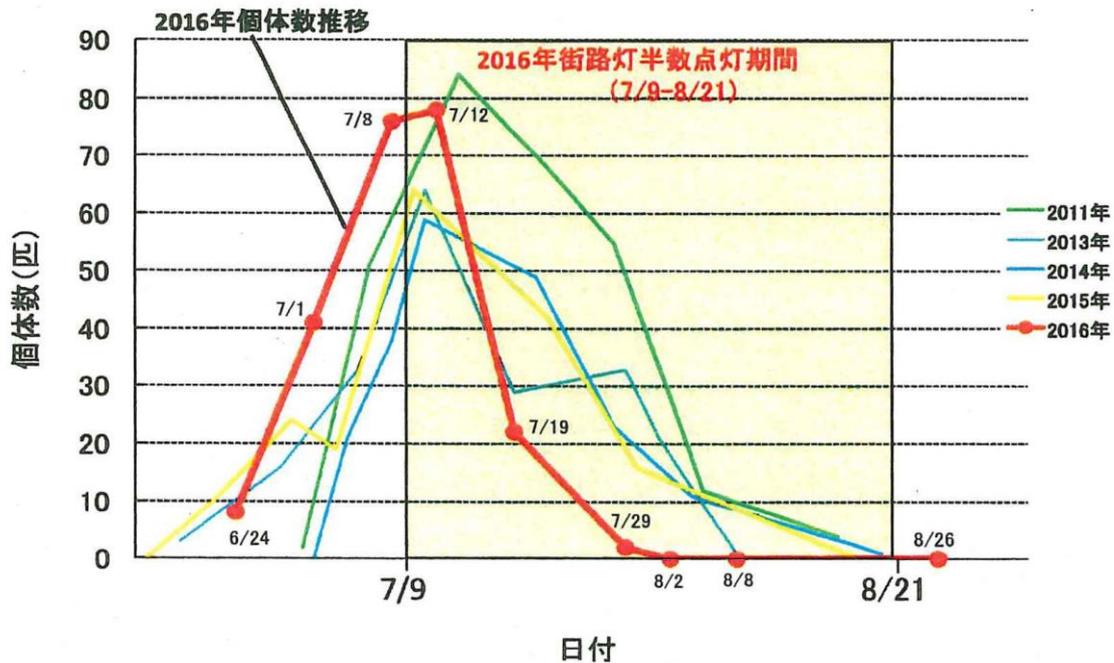
外灯を日没から24時まで全数点灯、朝まで半数点灯
 外灯25台に下面遮光板を取付、14台を70形ランプに取替
 ●は日没から朝まで点灯 ◣は日没から24時まで点灯



●進入路湿地沿い:底面遮光板110W→70W球
 ホタル確認時半数点灯

所沢校地B地区自然環境評価委員会(2008年2月9日開催)で承認

過年度のホタル个体数推移と半数点灯期間



◆B 地区進入道路の環境配慮



●遮光板による光源の広がり配慮

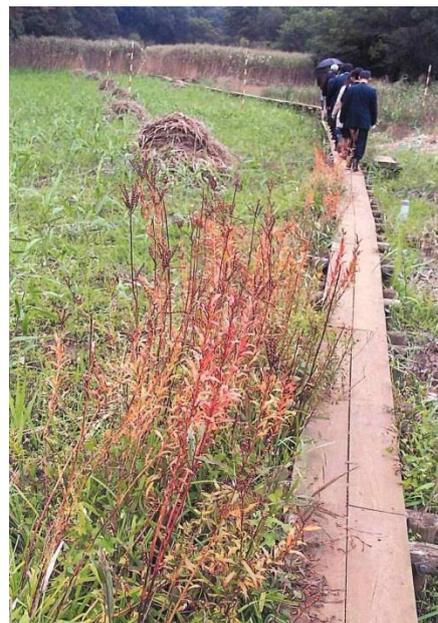


●入口ゲートによる車両制限



●バンプによるスピード制限

◆アーチカルバート沿いの湿地の湿潤状況【2017年10月31日】



●アーチカルバートに接した湿地は、地下水位が高いこともあり、他所に比べ湿潤です。

●湿地の希少植物であるタコノアシの群落も見られます。